第十七年次總會は六月二日に開かれました。總會に於ける報告並に決定の豫算、その他をこゝに會報として會員諸姉にお送りいたします。

婦選獲得同盟會報
―昭和十四年度報告―

第十七年次總會

十五年度の運動方針は總會後の中央委員會に於て研究決定することゝして六月二日(日)午後一時半より婦人問題研究所にて、役員及東京支部代議員三十餘名出席の上開催。豫定通り加藤第二副總務理事の開會の辭、市川總務理事の挨拶、金子會務理事の會務一般報告前島會計理事の會計報告があつて役協議に移り規約及び內規の改正については次の通り決定

一、會費及び會友の會費は參圓に値上の事

二、總會は代議員制を廢し役員及會員出席の上開く事

三、各支部への會費割戾制を廢し當分の間會費及誌代總額の約一割を集金費として支拂ふ事

十五年度豫算は前島會計理事の原案說明の後、一般特別會計合せて一〇、五七四圓〇八錢の豫算を可決、次いで石島選擧委員長により十五年度役員選擧が行はれ午後四時半閉會

地方代表歡迎晩餐會―同日午後五時から總會に出席の爲上京された和崎氏(大阪)水野氏(長野)小出氏(新潟)三氏歡迎會は中央委員有志により有樂町三事で開かれた。

昭和十五年度役員氏名

理事(第一回中央委員會互選)
總務理事 市川 房枝
副總務理事 藤田 たき
同 加藤 清子
會務理事 宮川 靜枝
會計理事 金子 茂

中央委員(いろは順)(總會選出)
市川房枝、石島菊枝、大竹清子、大師英子、大月照江、渡部清子、加藤清子、金子 茂、前島ふく、藤田たき、澤田しげ、佐野智恵、宮川靜枝(以上東京)
岩村 幸、小尾ふさ、和崎ハル、米山久子、八木橋きい、小出チカ、水野みさを(以上地方)

會計監督
大橋賢直、熊岡貞子

▼加盟各團體代表委員(第一回中央委員會決定)
母性保護聯盟
加藤清子、金子しげり
東京婦人愛市協會
澤田しげ、大橋賢直
日本婦人團體聯盟
市川房枝、宮川靜枝、佐野智恵
選擧肅正婦人聯合會
市川房枝、金子しげり、大師英子

昭和十五年度豫算(六月二日第十七年次總會決定)

一般會計

歲入之部

科目	豫算額
前年度繰越	五、三三
會費	一、八〇〇、〇〇
正會員會費	一、三〇〇、〇〇
維持會員會費	五〇〇、〇〇
事業費	一、〇〇〇、〇〇
催物	一、〇〇〇、〇〇
代理部	—
寄附金	二、三〇〇、〇〇
補助費	一、五〇〇、〇〇
臨時寄附	八〇〇、〇〇
雜收入	—
借入金	—
合計	五、一〇五、三三

歲出之部

科目	豫算額
俸給手當	八〇〇、〇〇
事務所費	一、〇七〇、三三
家賃	四三〇、〇〇
光熱水	六五、〇〇
文房具	三〇、〇〇
通信	一〇〇、〇〇
電話	三六〇、〇〇
交通	一〇、〇〇
集金	二五、〇〇
公課	一〇、〇〇
雜費	四〇、三三
運動費	一〇〇、〇〇
運動	—
研究會	—
講座	—
會合費	一五〇、〇〇
中央委員會	五〇、〇〇
理事會	五〇、〇〇
總會	五〇、〇〇
記念會	四〇、〇〇
女性展望誌代	一、三〇〇、〇〇
女性展望補助	六〇〇、〇〇
「ジャパニーズウイメン」補助	二〇〇、〇〇
圖書費	七〇、〇〇
印刷費	二〇、〇〇
交際費	三八〇、〇〇
總務理事	三六〇、〇〇
一般	二〇、〇〇
加盟費	九〇、〇〇
臨時費	二〇、〇〇
備品費	五、〇〇
會費割戾	—
返濟	三〇〇、〇〇
合計	五、一〇五、三三
差引殘高	—

特別會計

(一)「女性展望」

歲入之部

科目	豫算額
誌代	二、五六〇、〇〇
本部	一、三〇〇、〇〇
一般	一、二六〇、〇〇
廣告代	一、八〇〇、〇〇
本部より補助	六〇〇、〇〇
雜收入	—
借入金	—
計	四、九六〇、〇〇

歲出之部

科目	豫算額
俸給手當	一、三二〇、〇〇
印刷費	二、四四〇、〇〇
紙代	七〇〇、〇〇
刷代	一、七四〇、〇〇
編輯費	二〇〇、〇〇
發送費	一五〇、〇〇
通信費	八〇、〇〇
交通費	七〇、〇〇
文房具費	七〇、〇〇
原稿謝禮	二〇〇、〇〇
宣傳費	三〇、〇〇
廣告步合	二五〇、〇〇
雜費	五〇、〇〇
返濟	一〇〇、〇〇
計	四、九六〇、〇〇

(二)ジャパニーズウイメン

收入之部

科目	豫算額
前年度繰越	八、六八
誌代	二〇〇、〇〇
廣告	一五〇、〇〇
本部よりの補助	二〇〇、〇〇
寄附金	五〇、〇〇
計	六〇八、六八

支出之部

科目	豫算額
印刷費	三〇〇、〇〇
編輯費	二〇、〇〇
原稿翻譯謝禮	五〇、〇〇
文房具	二〇、〇〇
發送	一五〇、〇〇
通信及交通	一〇、〇〇
宣傳	二〇、〇〇
廣告步合	五〇、〇〇
雜費	八、六八
合計	六〇八、六八
次年度繰越金	—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昭和十四年度會務報告

十四年度運動方針

第十六年次總會(五月七日)において規約改正の結果、各部、各委員會組織を廢して左の方針に從ひ婦選の擴大運動をなす

一、研究會及時局講座等を開設し婦人の時局認識を深めしむるやう努むる事

一、婦人をして一層政府の各種委員會委員乃至は官公吏として婦人に關係深き方面の行政に參加せしめ、其の責任を完全に盡さしむるやう努むる事

一、政府各官廳並に本會の參加せる日本婦人團體聯盟、母性保護聯盟、東京婦人愛市協會其他各種婦人團體と協力、國民精神總動員運動の徹底に努むる事

運動概要

支那事變は遂に第三年目に入り非常時局下銃後に於ける婦人の任務はあらゆる方面に益々その重要性を强調され、婦人自身の認識も漸く家庭と國家社會の關聯にまで進展しつゝある時、時局下國内革新の波に乘つて、我が婦選獲得同盟は、其本來の主目的たる婦選獲得の議會中心運動はむしろ停止したやうな狀態にあつたのではあるが、廣義の婦選運動、一般女性擁護のためには充分の努力が拂はれたのである。

▽第十六年次總會決定の運動方針は、中央地方の政府當局並に他團體との協力によつて、事實上相當に目覺ましい効果を擧げる事が出來たと信ぜられる。

即ち、政府は傳統を破つて婦人の起用を行つた。まづ、三月末に組織された

▽内閣の國民精神總動員委員會委員五十九名中の紅一點として本會發起人で創立當時役員として盡力された竹内茂代氏、同じく幹事として總務理事市川房枝氏が入り事變下もつとも大切な政府と婦人大衆の協力活動に大いに盡すところあつた。

▽國民精神總動員運動には政府東京府、市、國民精神總動員中央聯盟、日本婦人團體聯盟等に協力し、會合の斡旋、文書の起草、說案、講演會、座談會への出席その他各種の方法を以て、其の徹底に努めたが、特に市川氏、金子氏は東奔西走の活動を以て、全國的に働いた。

▽大藏省國民貯蓄獎勵局に於ては百億貯蓄の目的達成のためには家庭經濟の面にあたる婦人の協力に俟つこと甚だ多きに鑑み、初め二人の國民貯蓄獎勵委員に婦人委員を任命したるを皮切に、遂には卅一名の婦人講師を囑託として全國各地に派遣したが、市川、金子の兩氏を初め、本會關係の多數が參加、全國的に大いに活動した。

▽厚生省に於ては戰歿勇士の遺族、出征軍人の家族に婦人子供の非常に多いのに鑑み、之が指導囑託制を設け、中央に九名、地方にも多くの婦人囑託をおいた。金子氏は中央の九名中の一人として、縣囑託指導のために屢々地方に出張努力した。

又軍事保護院專門委員會委員に本會々員福岡保子、竹内茂代の二氏を任命したし、電力管理委員會委員には竹内茂代氏他二女史が就任、勞働局でも勞働者生活刷新、女子勞務動員等につき屢々婦人の協力を求めたが、本會幹部は喜んで之に協力した。

▽商工省の物價委員會は地方委員會と專門委員會に全國的に百名の婦人委員を任用。此方面でも金子氏は東京地方物價委員會專門委員に任命されて活動したし、經濟警察關係も地方では相當調査員に婦人を任用したが、支部の幹部諸氏は此方面で大いに活動した。

中央物價委員會は物價價格形成委員會となり本會員高良富子氏他二名が任命された。

又商工省物價規格委員會が設置されるや市川氏は三委員會の委員金子氏は一委員會の委員に任命され協力した。

▽司法省關係で特記すべき事は第七十四議會に政府が提案通過の人事調停法が七月一日より實施さるゝにあたり、司法當局が積極的に婦人を任用するに至つたことで全國的に婦人調停委員百餘名の多きに上り、これ又本會の有力なる會員中より多數參加し甚だ好評である。

▽本會創立十五周年記念事業
十二月十三日、午後は松本樓にて夜は[illegible]にて記念會を開催、皇紀二千六百年を兼ねて、創立十五周年記念事業「婦人問題研究所」を設ける事を發表した。一般婦人問題部に婦人運動の調査研究を主に調

昭和十四年度決算報告

一般會計

歳入之部

科目	決算額	豫算額
前年度繰越	二五、三〇	二五、三〇
會費	一、三七八、三五	一、四五〇、〇〇
正會員會費	九〇六、五五	八五〇、〇〇
維持會員會費	四七一、八〇	六〇〇、〇〇
事業費	六四六、三五	一、三四〇、〇〇
催物	五九五、三五	一、三四〇、〇〇
代理部	五一、〇〇	—
寄附金	二、二一〇、〇七	二、一〇〇、〇〇
贊助費	一、三六四、一五	一、六〇〇、〇〇
臨時寄附	八四五、九二	五〇〇、〇〇
雜收入	四〇、〇九	—
借入金	四五〇、〇〇	—
合計	四、七五〇、一六	四、九一五、三〇

歳出之部

科目	決算額	豫算額
俸給手當	七四六、〇〇	七〇〇、〇〇
事務所費	一、〇五七、八〇	一、〇三〇、〇〇
家賃	四二〇、〇〇	四二〇、〇〇
光、熱、水	八四、〇五	八〇、〇〇
文房具	一〇三、二六	七〇、〇〇
通信	一一〇、四二	一〇〇、〇〇
電話	二六九、一一	二六〇、〇〇
交通	一二、九三	二〇、〇〇
集金	五、七二	三〇、〇〇
公課	七、八五	一〇、〇〇
雜費	四四、四六	四〇、〇〇
運動費	八六、二三	三〇〇、〇〇
運動	二、七〇	一〇〇、〇〇
研究會	六、六五	五〇、〇〇
講座	七六、八八	一五〇、〇〇
會合費	二〇五、五四	一五五、〇〇
中央委員會	二五、八五	二〇、〇〇
理事會	三八、四四	三〇、〇〇
總會	四〇、九二	七〇、〇〇

會員、會友皆々樣昭和十五年度會費(參圓)お拂ひ込み下さい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

保護費、資料の蒐集、更に刊行等を行ひ、やがては財團法人組織とする豫定。

▽婦選研究會三回

▽婦選時局講座　本會々員を中心に婦人の時局認識徹底のため開設したが、第一回八月七日より十二日まで六回、出席延人員百五十五名。第二回十一月十五日より十二月二日まで六回出席延人員百四十七名を得、好成績であつた。

共同運動

本會は、獨自の立場に於て運動する場合の他、他團體に加盟して各方面の運動に寄與してゐる。

日本婦人團體聯盟（加盟團體七）

▽兒童問題、精神作興研究委員會は合同して映畫法に關する種々の研究を行ひ、五月文部省に兒童映畫に關し請願書提出、聯盟の希望を傳ふ。

▽勞働婦人保護問題研究委員會は、時局下その重要性を增せる勞働婦人保護に關する調査研究と共に、四月下旬厚生省當局に(一)婦人工場監督官の增員(二)婦人の坑內勞働禁止緩和の方針實施已むなしとすれば監督を嚴重にする事(三)婦人從業員の結婚による強制退職の規定ある方面は改正を考慮されたし、の希望を述べ、更に九月、十二月には紡績女工の深夜業復活反對意見を傳へた。

又母性保護聯盟と共同にて開會中の貴衆兩院に、工場並に鑛山に於ける婦人監督官の任用と女子勞務係の採用に關する請願書及び建議案を提出、三月採擇さる。

▽女子勤勞奉仕研究委員會　精動の方針に從つて九月委員會組織女子青年勤勞奉仕に對する原則を研究文書として精動其他の關係に交付、更に大塚、外濠の二公園で十月より十二月迄會員が奉仕した。

▽配米實行委員會　配米及び代用食に關する研究調査を行つた。

▽婦人團體國際連絡委員會　委員長ガントレット恒子氏汎太平洋婦人會議に出席のため七月渡米、會議中止のため個人使節として日本の立場說明に奮鬪、十五年一月歸朝。

▽その他、六月には東京市と協力、金裝飾品廢止、金集中の街頭宣傳に參加。七月、厚生省主催の厚生の夕に參加團體として協力。十二月、東京府の戰時經濟服強調婦人大會に參加、三代表意見發表

一月十六日―三月廿一日、二十回に亙り家庭看護法講習會開催好評

母性保護聯盟（參加團體二六）

▽人事調停法制定　夙に創立當時より運動せる家事調停法が人事調停法として成立せるを以て四月一日成立記念會開催、七月一日實施に先立ち任命されたる婦人委員中本會關係者多數あり。

▽母子保護法　母子保護法に依る救護額の限度が社會情勢に鑑みて十月より引上げられた。

▽銃後家庭強化　現在軍事保護院で行はれてゐるこの仕事は、十四年秋から一縣三百名乃至五百名の多數婦人が指導員として任用されてゐるが、本會からは山田わか金子しげりの二氏が中央囑託としてその指導的任務に當つてゐる。

▽乳幼兒檢診　厚生省は戰時國策の一として人的資源確保の見地より五月以後全國的に乳幼兒檢診斷行。本會は其の實體を檢討すると共に特別委員會を設けて專門的研究を進めた。

▽兒童局問題　秋の兒童保護大會で決議された兒童局設置の要望につき十二月本會諮問委員の招待會を催して懇談。厚生省、東京府市當局者も參加、充實した會であつた。

▽就勞婦人保護　時局下、就勞婦人激增に伴ふ保育施設の擴充を要求して、日本婦人團體聯盟と共同運動を行ふ(別項參照)

▽「母の日」(五月第二日曜)本年も母の日中央委員會により主催。森永母を讚ふる會と共同、東京市後援で晝夜二回開催。

尙ほ、恒例の母子ホーム慰問は本年は遺族家族母子寮を對象として東京市菊花寮、武藏野母子寮等を五月中巡廻。

▽創立以來委員長として盡力された山田わか氏は母をまもるの會母子寮創設に伴ひ辭任。

▽行事「母と子のつどひ」は九月開催、純益五百餘圓。

▽機關誌「母性保護」は月刊であるが、紙と人手不足のため屢々休刊の止むなきに至つた。

東京婦人愛市協會（參加團體七八）

▽「百億貯蓄強調週間」の第一日に行はれた東京市各種婦人團體の金集中運動に加盟團體として本會からも參加。

▽十月七日創立二周年記念をかねて東京婦人市政クラブ發會式擧行。加盟團體の會員中より特に市政研究に熱心な人々を會員として市政の研究、協力に努めた。

▽市政研究會は、五、七、九月の三回、東京市の清掃事業、帝都の精動運動、東京市の厚生事業等に就て各當局者より講演を聽いた

▽婦人市政俱樂部は十一月より三月まで每月開き、興亞奉公日の廢品回收、今冬季結核豫防運動市電交通統制、東京市の精動運動特に生活刷新運動、市の生活福利課の事業並に生活改善運動等々に就て當局者の講演を聽き、研究するところあつた。

▽運動としては五月十五日、市の河川淨化運動に參加、六月十五日府市の金集中運動街頭宣傳に參加した。

▽十月三十日、東京市國民精神總動員婦人講演會に參加、十二月八日聖戰強調婦人大會には東京市精動婦人團體連絡會の參加團體として本會よりの出席百名、發言者三名。

▽機關誌「婦人市民」は創立二周年記念事業として十一月十日創刊

現勢

▽會員數　六九〇

正會員　五五六

正會友　四四

維持會員　七二

維持會友　一八

▽支部數　一〇

東京、兵庫、京都、秋田、新潟愛知、廣島、熊本、金澤、群馬

▽女性展望購讀者數　六九八

△ジャパニーズウイメン　一一六

▽通信數

受信　七、〇〇五

發信　四一、二〇九

第十六年次總會

五月七日午前十時より一時半まで本部事務所隣接の婦人時局研究會事務所にて開催。中央委員大邱英子氏司會の下に市川總務理事の挨拶の後報告に移り、金子會務理事の會務一般報告、前納會計理事の會計報告あり、次で協議に入る

一、十四年度運動方針(別項參照)

二、規約改正

三、十四年度豫算案

次で役員選擧を了る。出席者三十餘名。

婦選獲得同盟會計

記念會	一〇〇、三三	三五、〇〇
「女性展望」誌代	七七五、一四	七〇〇、〇〇
「女性展望」補助	六四〇、三八	一、〇〇〇、〇〇
「ジャパニーズウイメン」補助	一八五、〇〇	―
圖書費	六一、一九	五〇、〇〇
印刷費	二一、七七	二五、〇〇
交際費	三七四、四六	三九〇、〇〇
總務理事	三六〇、〇〇	三六〇、〇〇
一般	一四、四六	三〇、〇〇
加盟費	一七二、一四	一六〇、〇〇
臨時費	五六、二三	二〇、三〇
備品費	一、五〇	五、〇〇
會費割戾	三一一、四六	二八〇、〇〇
返濟	五〇、〇〇	一〇〇、〇〇
合計	四、七四四、八四	四、九一五、三〇
差引殘高	五、三二	―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

創立記念日

創立十五周年記念會は十二月十三日(水)午後一時半より日比谷松本樓に開催、出席者卅八名。金子氏司會。市川總務の挨拶から懇談に入り、諸氏の想出話や激勵あり一同一層の健鬪を誓ふ。

同夜五時より麹町實亭に會役員招待會を開く。出席者廿九名。贊助員たる國際法の權威、外務省のベエテイ博士、海軍政務次官西岡竹次郎氏、星野愛子女史等の顔も見え、竹內茂代女史初め在中央委員の懐舊談に花が咲き、最後に本會の十五周年が恰も皇紀二千六百年にあたるので、其の記念事業計畫が發表された。

役員

中央委員

市川房枝、井上清子、大竹清子、大邱英子、大月照江、大內(結婚後桑原)光枝、加藤清子、金子しげり、前島ふく、藤田たき、淺賀將江、澤田しげ子、宮川靜枝(以上東京)

岩村幸、小尾ふさ子、和崎ハル、米山久子、八木橋きい、小出チカ、水野みさを(以上地方)

會計監督

戸塚とみ、熊岡貞子(五月七日總會決定)附記　井上清子氏固辭され石島菊枝氏就任

理事

總務理事　市川　房枝
副總務理事　藤田　たき
同　加藤　清子
會務理事　金子しげり
會計理事　前島　ふく
(第一回中央委員會で互選)

▽會合數

理事會十二回、中央委員會十三回

▽女性展望編輯委員會　市川房枝、石島菊枝、井上清子、野村正子、大竹清子、金子しげり(編輯者)、吉田優子、矢次とよ子、阿部淑子、澤田しげ子、三本信子、平井恒子、宮川靜枝

▽ジャパニーズ・ウイメン編輯委員會　市川房枝、嶺澤獻子、大月照江(編輯者)、金子しげり、藤田たき、佐野智惠

▽加盟各團體代表委員

日本婦人團體聯盟　市川房枝、金子しげり、大月照江

母性保護聯盟　加藤清子、金子しげり

東京婦人愛市協會　市川、大[illegible]

【一般會計附錄】

(一)前述座切符賣上益金會計報告—昭和十四年十一月二十八、二十九、三十日新橋演舞場にて

一、收入　六〇九・七〇圓
切符益金　五七六・〇〇
寄附金　三三・七〇
一、支出　三六・七九圓
通信　二二・二八
交通　一・八三
印刷　九・五〇
文房具　・六八
雜費　二・五〇
一、差引殘金五七二・九一(本部一般會計へ繰り入れ)

(二)昭和十四年度贊助費及臨時寄附者氏名

支部(二五八圓九二)澁谷某夫人(二〇〇圓)原信子氏(一五五圓)松野作吉氏(一五〇圓)石川武美氏(一〇〇圓)靜岡歌代氏(一〇〇圓)高良富子氏(一〇〇圓)前島ふく氏(一〇〇圓)嶋山薫氏(一〇〇圓)エマ・カフマン氏(一〇〇圓)芥河せき氏(一〇〇圓)橋本清之助氏(一〇〇圓)淺賀長兵衛氏(一〇〇圓)石倉己吉氏(一〇〇圓)麹町某氏(九一圓六〇)北品川某夫人(九〇圓三五)龜井寧子氏(六〇圓)井上秀子氏(五〇圓)小山完吾氏(三〇圓)ガントレット恒子氏(三〇圓)藤田たき氏(二七圓二〇)星野あい氏(二〇圓)門野りよ氏(二〇圓)竹內茂代氏(二〇圓)茂木由子氏(四圓)小尾ふさ子氏(三圓)

合計　二、二一〇圓〇七

(三)昭和十四年度末借入金總額氏名一覽表

(△印前年度末より減)

竹內茂代氏五・〇〇(△二〇圓)市川房枝氏一、五六六・九二(四五〇圓增)市川與市氏七七五圓(△二〇圓)某氏より一時借入五〇圓、金子茂氏六二四・四三(△一〇圓)

合計三、〇二一・三五(十三年度末より四〇〇圓增)

(備考　市川與市氏よりの借入金中七〇〇圓は電話買入れの時借入せるもの)

特別會計

(一)「女性展望」

歲入之部

科目	決算額	豫算額
誌代	一、六六三、六八	一、六〇〇、〇〇
本部	七五五、一四	七〇〇、〇〇
一般	九〇八、五四	九〇〇、〇〇
廣告代	一、四九三、〇〇	一、七五〇、〇〇
本部より補助	四〇〇、三六	一、〇〇〇、〇〇
雜收入	四、六六	—
借入金	四八三、一九	—
計	四、〇四四、八九	四、三五〇、〇〇

歲出之部

科目	決算額	豫算額
俸給手當	一、〇四三、〇〇	一、三三〇、〇〇
印刷費	二、〇一八、四四	一、八〇〇、〇〇
紙代	八〇七、一三	
刷代	一、二一一、三一	一、八〇〇、〇〇
編輯費	一八二、六四	二〇〇、〇〇
發送費	一四三、一七	一五〇、〇〇
通信費	七七、〇五	八〇、〇〇
交通費	六七、二三	七〇、〇〇
文房具代	五三、八六	八〇、〇〇
原稿謝禮	一六六、〇〇	三三〇、〇〇
宣傳費	三、三二	三〇、〇〇
廣告歩合	三四、八五	二五〇、〇〇
雜費	三八、九五	五〇、〇〇
返濟	—	一〇〇、〇〇
計	四、〇四四、八九	四、三五〇、〇〇

(二)「ジャパニーズウイメン」

收入之部

科目	決算額	豫算額
	圓	圓
前年度繰越	、二一	七、九九
誌代	二〇八、九六	三三五、〇〇
廣告	一二〇、〇〇	一三〇、〇〇
本部よりの補助	一〇五、〇〇	—
寄附金	四一、〇〇	一〇〇、〇〇
計	四七五、三七	五七二、九九

支出之部

科目	決算額	豫算額
印刷費	二五一、三〇	二四〇、〇〇
編輯費	三二、六三	五〇、〇〇
原稿翻譯謝禮	三〇、〇六	六〇、〇〇
文房具	八、一〇	一五、〇〇
發送	一三七、四九	一三〇、〇〇
通信及交通	九、六三	二〇、〇〇
宣傳	—	三〇、〇〇
廣告歩合	二六、〇〇	四八、〇〇
雜費	、八〇	一九、九九
合計	四六六、六一	五七二、九九
次年度繰越金	八、七六	—

(三)「女性展望」獨立基金會計報告

一、前年度繰越　三六三・三六圓
一、本年度收入　六四・八四
【內譯】蒲池すま子氏(一二圓)三上千代子氏(一〇圓)矢倉ふさ枝氏(一〇圓)園出文子氏(五圓)馬島僴氏(三圓)新居格氏(二圓)田中館秀三氏(二圓)松原一彦氏(二圓)小久保ちゑ氏(一圓)木村榮子氏(一圓)北川千代氏(一圓)竹中繁子氏(一圓)望月百合子氏(一圓)瀬原永子氏(一圓)林歌子氏(一圓)高群逸枝氏(一圓)職員一同(〇・七七圓)女性展望購讀部寄稿料(二一・九〇圓)利子(七・一七圓)
現在高　四二八・二〇

(四)會館建設資金會計報告

一、前年度繰越金　六九一・九〇圓
一、本年度收入(利子)四〇・九六
一、現在高　七三二・八六
(婦人問題研究所會計に繰入れ)

(五)家賃敷金會計報告

(十三年度に同じ)

一、現在高　一四〇・〇〇

(六)振替及約束郵便保證金會計報告

(十三年度に同じ)

一、本部及出版部振替貯金保證金　二〇・〇〇
一、「女性展望」約束郵便保證金　三八・〇〇
一、合計現在高　五八・〇〇

昭和十五年七月二十九日印刷　昭和十五年八月一日發行(非賣品)　編輯發行兼印刷人　宮川靜枝　發行所　四谷區尾張町五　婦選獲得同盟　電話四谷七〇七四　振替東京七〇三八三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復刻版　婦選　第1巻

1992年12月10日発行

本体価格　25、000円

発行者　船橋　治

発行所　不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
〒113　☎03(3812)4433

印刷所　三進社

製本所　青木製本所

中性紙使用

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA